インドネシア共和国

ディポネゴロ大学
Diponegoro University

●学部学生 38,500人　●教職員 2,815人
ホームページ　http://undip.ac.id/
交流協定締結年月日：2013年2月4日　　主管学部：農学部

交流協定調印
ディポネゴロ大学長Dr. Sudharto（右）

ディポネゴロ大学畜産学部　看板前
（香大卒業生Dr. Albaarri　Dr. Anang）

国際交流の特色

Diponegoro大学（インドネシア語：Universitas Diponegoro）は州立大学であり、ジャワ州の州都スマランにある。スマラン大学財団による私立大学として1956年に創立され、インドネシアでは先駆的な高等教育機関であり、また中部ジャワでは最も古い教育機関である。最初はスマラン大学と呼ばれていたが、インドネシア政府によって州立大学として公認され、1960年10月5日にDiponegoro大学と改名した。「Diponegoro」の名は、19世紀前半にオランダの植民地からの解放のために戦ったインドネシアの英雄からとられている。UNDIPとして知られているDiponegoro大学は、エンジニアリングとITに強く、中部ジャワで最高レベルの大学である。2000年に、UNDIPはエンジニアリング学部を拡大し、11学部となり、教育研究センターや研究所も多数ある。

交流実績（令和４年度～令和６年度）

受入・派遣＼年度	R4	R5	R6
学生の受入	1	1	5
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	2	0	0
研究者・職員の派遣	1	1	0
オンライン交流参加者（本学）	0	0	0
オンライン交流参加者（相手機関）	0	0	0

早川茂名誉教授がディポネゴロ大学で講演

教員からの声

ディポネゴロ大学とは学生交流を毎年行っています。香大生は毎年８～９月にインドネシアに行き、サマーインターンシップに参加しています。2025年は農学部の4年生１名が参加し、インドネシアの環境問題などについて学んできました。ディポネゴロ大学への訪問に興味がある方は、農学部学務係まで問い合わせをしてください。

農学部教授　小川　雅廣

左の写真は、サマーインターンシップで
Karimunjawa島を訪れたときの様子（香大生６名参加）